1999年1月15日発行
第8回総会特集号

Ishi Datami
いしだたみ

諏訪神社

１９９８年冬

ＶＯＬ・１３

長崎南高関西同窓会

NAGASAKI

新歳時記

お諏訪さん

秋の長崎といえば、なんといっても「長崎くんち」が思い浮かびます。高校時代、丘の上までシャギリの音が聞こえてくると、そわそわして授業も上の空だった方もいるのではないでしょうか。おくんちは諏訪、森崎、住吉の三社を祀った諏訪神社のお祭りで、３６０年の歴史があります。同窓生のなかには、長崎の総氏神様として親しまれるこの神社で、お宮参り、七五三のお参り、または子供のころおくんちに参加したという方も多いことでしょう。私にも諏訪の森で写生をしたり、小さな動物園でクマやサルに餌をやったという懐かしい思い出があります。

ぼたもちで有名な月見茶屋のある広場から、以前は長崎の港が見えたものですが、いまはビルに隠れて見えなくなってしまいました。それでも稲佐山の向こうに日が沈むころの、ここからの景色は何ともいえぬ風情があります。神社の周辺には美術館や図書館、知事公舎などがあり、さまざまな文学碑や記念碑もあります。

印刷の始祖である本木昌造の銅像や、我が国初の写真家である上野彦馬像など、長崎ならではの先人の像もあります。また神社に隣接した長崎諏訪の社文学館には、長崎ゆかりの文学者たちの原稿や作品などが展示してあります。帰省の折りは、諏訪神社一帯を散策して故郷の歴史散歩はいかがでしょうか。

（２回生 中野章子）

インデックス

新歳時記
　中野章子・・・・・・・２
懐かしい手紙
　高橋政寛先生・・・・・３
総会・・・・・４・５・６・７
リレーエッセイ
　田平利博・辻田峯夫・・８
リレーエッセイ
　野村美穂子・・・・・・９
リレーエッセイ
　永井克宜・・・・・・１０
長崎同窓会総会
　浦川英孝・・・・・・１１
インフォメーション・・・１２

懐かしいてがみ

高橋政寛先生

昭和63年から平成6年まで
南高在職
英語担当
テニス部顧問　本校4回生

最後の高総体

去る５月､板山先生の御退職記念祝賀会を、テニス部卒業生有志で開きました。昭和４１年には、４回生女子中心のチームで高総体優勝をしておりますが、その時の顧問であり、厳しかった体育の授業を覚えておられる方も多いと思います。２度南高に勤務されましたが、その後は障害児教育に献身され、県立盲学校の校長先生で御定年を迎えられました。

私自身、高校時代は中庭にあった一面のテニスコートで、男女一緒に「鬼の板山」先生に鍛えられました。華々しい活躍をした４回生女子と、これまた強かった３回生、５回生男子に隠れて我々４回生男子チームは肩身の狭い思いをしましたが、共に汗を流したチームメートは今でも最高の仲間です。

縁あって昭和６３年から母校南の教壇に立つことになり、女子テニス部の顧問になりました。先輩方のプレッシャーも感じつつ、寸暇を惜しんで自動車学校下のコートで指導をしました。しかし３年連続１回戦負け。３年生になって選手になれない生徒もたくさん出してしまいました。そんな生徒に何かしてやれないものかと考えて、「月替わりキャプテン制」を考えつき､実施することにしました。

対外的な総キャプテンは１人置き、毎日の校内での練習、顧問との連絡、指示号令をする月替わりキャプテンを最上級生全員にさせて、キャプテンのつらさや号令をかける経験をさせるのも面白い。指導要録にも、「キャプテン」と書いてやれるおまけつきです。私自身も主任等しなければならない年齢となって毎日はコートに行けなくなりましたが、かえってチームワークが良くなり、１人ひとりの責任感・協調性・自覚が強くなっていったようです。

月替わりを取り入れた１年後(顧問４年目)普賢岳噴火の時の島原であった高総体ではいきなりベスト８まで進みました。翌２年目ベスト１６。そして平成６年。この年は３回生の霜川先輩(当時聖マリア中学校の体育教師)が良い選手を南高に送ってくれ、５回生の松竹さんが忙しい勤務の中、コーチに来て下さり、総キャプテンもテニス大好き少女で頑張ってくれました。

高総体で目標にしていたベスト８までやっと勝ち残り、次は４連覇に自信を見せる島原商業です。最後の試合、悔いのない負け方をさせようとコートに選手を送り出したところ､接戦で１－１の３番手勝負となりました。相手は県ランキング選手で切り札、こちらはこの日初めて組ませた３年・２年ペアでどう見ても勝つ要素のない方が勝つのだから、顧問はやめられない。

勝って涙するという経験は初めてでした。ベスト４止まりでしたが、生徒や霜川先輩・松竹さんその他の方々のお陰でいい思いをさせていただきました。

平成７年には長崎北陽台高校に転勤となりました。ソフトテニス部のない学校でしたので、南高でのベスト４が私の最後の高総体記録となりました。しかし月替わりキャプテン制と、練習後に校歌を歌うことは今でも南高で続いているようです。また、総キャプテンを経験した卒業生が平成１０年４月から高校の国語教師として勤めています。ソフトテニス部を持ちたいと話しておりこれまた嬉しいことです。

総会特集

輝かんばかりの広瀬先生の笑顔

高橋先生は尺八演奏を披露してくださいました

1回生（東京からも多数来てくれました）

出席者

６５名

在阪	５５名
東京より	６名
長崎より	２名
恩師	２名

少ないながらも中身の濃い集まりでした。

2回生

１９名の有志の方から
福引き景品の寄贈がありました。
参加者全員に景品が渡せました。

総会をより活性化するために
会員の皆さんにアンケートを
とったり、一口コメントを
募りました。
皆さんの言葉を一挙掲載します。

●総会は２年に１度でもよい。（１５名）
●毎年がんばることが重要。　（２５名）
●総会会費は現在の金額で妥当（３３名）
●もう少し安くして欲しい　　（　４名）

4回生

3回生・5回生

6，7回生

8回生以下

●招待して欲しい恩師

原校長　吉野先生　浦川先生
田中正明先生　友永仁先生
戸田先生　斉藤先生　大脇先生
林田先生　栗山先生　平田先生
川下先生　古川憲介先生
波多江先生　金谷先生　鶴田先生
山田先生　梅田先生

●細く長くをモットーに！！
●若い人をもっと集める。
●アトラクションをもっと。
●音楽、舞踏、おもしろスピーチを
●席を自由に（回生毎ではなく）
●１回生が北から南から来てくれたのがよかった
●回生別の席でなく出身校別、住んでる地区別などもおもしろい。
●年１回のチャンスを皆に提供するため毎年開催するのがいい。
●今年は印象として楽しかった。
●出席者は少なかったが、広瀬先生がいい顔で喜んでくれた。
●総会以外の活動で家族もいっしょに出席できるイベントを考えて。

以下は総会欠席者からのコメントです

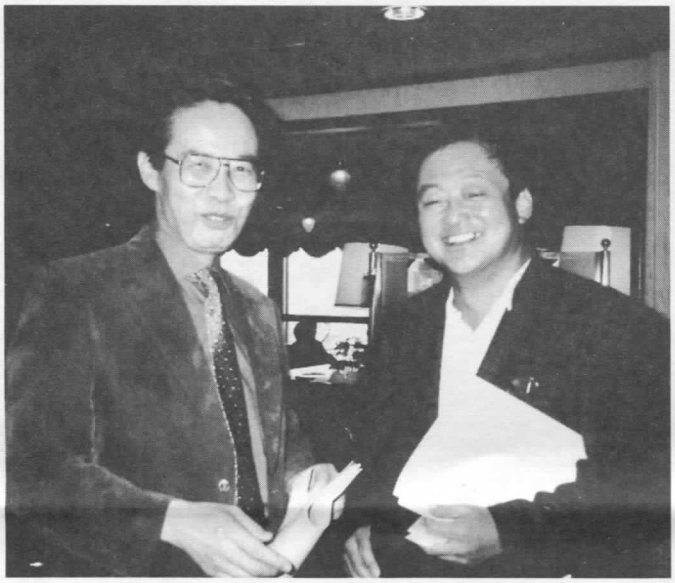
●母校への想いは年々強くなっていきます。いつの日か還らんことを願っています。「いしだたみ」がその絆をわずかに留めている様です。

●皆様のご活躍をとても嬉しく、読ませていただいています。
紙面での長崎弁に触れるだけで、気持ちがリフレッシュいたしています。

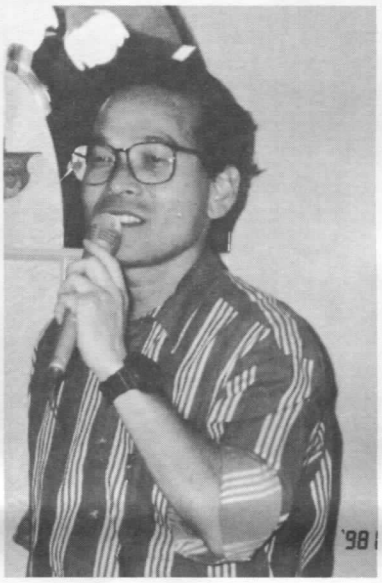
●友人のおばである中野秀子さんが載っていてびっくりしました。これまで全くといっていいほど、関心がありませんでしたが、これを機に「いしだたみ」をちゃんと読みたいと思います。

●一桁の回生の方たちばかりでなく、もっと最近の卒業生の記事が読みたいです。

恩師もタイムスリップして少年に戻る



東京から須堯さん・桜永さん



東京から懐かしい間渕さん(6)

● 広瀬先生のお手紙楽しく拝見。先生がどうして中国で日本語を教えられるようになられたのか知りたいと思っています。そのうちに又載せて下さい。
中野さんの留学生の家のお話もステキ。6月に台湾の長編タイムファンタジー「カバランの少年」(てらいんく社)を上梓しました。先住民族の末裔が過去からタイムスリップして自分の民族に出会う物語です。

同窓生同士がむすばれました。もちろん愛妻家です。
知らない人はいない山田ご夫妻

松本（１回生）中山（１回生）鹿谷（２回生）

● 会報誌「いしだたみ」を届けて下さり有り難うございました。
それぞれに輝いて生きておられることに共感を覚えます。
今夏は中国へ、細菌戦の現場に学ぶ旅にでかけます。
広瀬先生の便りに励まされました。
関西同窓会の皆様のご健勝を心からお祈りします。　（藤田光先生）

●今回のいしだたみの表紙の亜熱帯植物園は私の田舎の隣町です。
文中の樺島が田舎なのでなつかしく読みました。
ありがとうございました。
ちなみに植物園の責任者は友達のご主人です。

●残念ですが、仕事のため、今回も出席できません。広瀬先生にお会いしたかった。
よろしくお伝えください。

●いしだたみが届く度に同窓生のご活躍の様子が手に取るようにわかり、こちらも元気がでます。

役員、幹事が集まると、同窓会活性化のために、なにをすればいいのか、すぐその話になります。
総会の出席者数が減ってきていることも、大変心配です。
「質」だ「量」だ。卵と鶏の話が延々と続きます。
ご意見おありの方、お聞かせください。

関西地区に転入された新人さんをご存じの方は、事務局まで教えて下さい。

リレーエッセイ PART1

大阪の味

１回生　田平利博

「食い道楽の町」大阪に転勤して早いもので４年になります。先日、南高の１回生の同期会に出席したおり、大阪では何が美味しいのかという話から、それでは私のつたない経験から１つお薦めの店がありますという事で書く事となりました。

熊本、福岡、長崎、東京、広島、大阪と転勤し、仕事の都合上高くて美味しい店は色々経験しましたが、安くて美味しい店はやはり大阪です。京都は昔ながらの京懐石、湯豆腐、奈良は万葉料理に明日香鍋、大阪はお好み焼きにたこ焼き、どれも全国的に有名ですが、大阪らしい美味しいものをと言うときには「たこ焼き」をすすめる事にしています。

店名は「たこ昌」。場所は難波と心斎橋の中間で近くには有名な法善寺横丁、水かけ不動明王、夫婦ぜんざいのお店等があり、観光ルートとしても楽しい所です。たこ焼きとは大きなタコが入っている物としか思っていませんでしたが、ここでは食前酒に始まり、ネギ、紫蘇、醤油、明石焼き等最後のシャーベットまで１０種類もあってお客の食べ頃を見計らってつぎつぎに出てきます。こんな「たこ焼き」もあったのかと、さすが「食い道楽の大阪」と感心した店でした。

食器も趣があり奥さんか恋人とのデートにはもってこいの店ではないかと思います。

懐石コースの所要時間は１時間から１時間３０分で、単品のお持ち帰りもできます。

道頓堀本店は千日前プランタン北へ２００メートル右側

℡　０６－６２１２－３３６３

年中無休

料金５８００円プラス消費税　６０９０円

精霊流し始末記

２回生 辻田峯夫

昨年、父が長崎の実家で亡くなり、この夏初盆を迎えた。精霊船を出して送ってやりたい気持ちは残された家族（母、姉、私）で一致はしたが、姉が浦和、私が岡山と離れて住んでおり、家族の総数も少なく、親類がどの程度集まるかが不確定など種々不安がありずいぶん迷った。少し下調べをし何とかやってみようと決心をしたのが今年の５月で、早速担ぎ手を４人とし参加人員を予想し、まず法被の必要数を注文した。船の大きさもおおよそ決まるもののどこで作ってくれるのかがわからず､結局親類の大工のつてで頼むことにし、希望する船の様式、大工に頼みたい仕事の範囲を岡山から親類にＦＡＸで伝えた。６月にも長崎に帰り、提灯、帆布など船に必要なものを注文するとともに、船についての不明確な点を徐々に潰していったが、どんな船が出来るのかはこの時点でもはっきりしなかった。

いよいよ８月９日に家族で長崎に入り、本格的に準備を進めた。法被以外の衣装、船の飾り、花火を買い、精霊流し当日の軽食、飲み物、氷などの手配を済ませた。忙しい中を割いて、１日だけ伊王島で海水浴、サイクリング、飲み放題のバイキングをしっかり楽しんだ。（これは安くてお薦め！）１４日には船が運ばれてきた。長さ５㍍、幅１．１㍍、帆先までの高さ４㍍と、注文仕様より一回り大きくなっていたものの、派手にならずできれば昔風にとの希望は叶えられていた。舳先にみよしはなく、径２０㎝程の青竹が船底から突きだした実際の船に近い形である。屋根は、ごつごつした節穴もあらわな杉の皮で葺いてある。ふんだんに使われた白木を生かすため黒白のテープや造花の飾りはやめ、飾り付けは波布を巻く程度にしたためそれほど手はかからなかった。

そして１５日、朝から最後の調整をし、心配していた親類も昼過ぎには全員集まり、５

時半に南山手を出発し大波止に向かった。早く出たため、長く渋滞することもなく、７時半ころには無事流すことが出来た。
初めてのことで不安であったが、何とか無事に成功させることが出来たのは、妻が本気でやってくれたこと、家族の思いが一つにまとまったことによると思う。とはいえやってみなければ解らない部分も多く、これから精霊流しに遭遇する方のために、いくつか気が付いたことを記します。
＊担ぎ手以外に、総責任者、高張り提灯、鉦花火などかなりの人数が必要。
＊オーソドックな船でよければ、Ｔという玩具屋で船はもちろん必要なものはすべて揃えることが出来る。個人的な関係で頼むよりビジネスライクに対応できるのでやりやすい。
＊船には形だけでも舵が必要。ないと霊が迷走することになる。
＊電源は出来ればバッテリーがよい。発電機はうるさく暑い。ローソクに徹する気になればベスト。
＊花火は、最後の行程で使用するものを別にしておくと無くなってあわてることがない。
＊渋滞に遭わず、テレビ中継に入る時間帯に行くためには、早く出発し途中で時間調整をしながら行く必要がある。
関西在住のみなさんもこういう巡り合わせになったら、是非勇気を出して船をだし、仏を弔ってください。最後に船を流す瞬間は、新仏との決別の思いが哀しく、限りなく厳粛なもので、この行事の本質を改めて理解することが出来る。

リレーエッセイPART2

７回生野村美穂子

「おいでよ」と明るいお誘いの電話がかかってきたのは、もう８月も終わり９月に入ったばかりの頃でした。
就職で長崎を離れ、結婚で日本を離れた私は、高校卒業後３０年近く「同窓会」なるものとは全く無縁で過ごしてきました。ですから突然のお誘いに最初に浮かんだのは、欠席するための都合のよい口実はないものかということでした。
電話の主は、大学時代の友人の姉上で、もう何年も同窓会関西支部の世話役をなさっています。「７回生は出席率の悪かとよ。がんばって出てこんね。」と、あれこれ言い訳を見つける前に活を入れられてしまいました。その懐かしい長崎弁の響きと、１年の時に担任していただいた広瀬先生がいらっしゃるという事におおいに心誘われたのですが、何せ住まいは京都といっても奈良に近い陸の孤島。大阪までの遠い道のりを思うとつい腰も重くなってしまいます。そんな出不精の私の背中をポンと押したのが「若返るよ」の主人の一言でした。同窓会と若返り、どんな因果関係があるのか、同窓会未経験の私には不可解なことでしたが、出席してみてその意味がよくわかりました。
「同窓会」というのはタイムトラベルのできる場所だったのです。
会場で知っている懐かしい顔を見つけた途端、時間が逆流し、心はグレーの制服に身を包んでいた頃に戻ってしまっていたのです。
普段、記憶の底に埋もれていた３年間のいろいろな出来事が、一つずつ鮮明に浮かび上がってきました。楽しいことばかりではなかったはずなのに、心はどんどん浮き立っていきました。久しぶりにお会いした先生は、ずいぶん太めになってしまった私を思い出すのに苦労なさっていらっしゃったようですが、

私の方は、すっかり１年５組の生徒に戻っていました。（先生はちゃんと思い出してくださり、その時の写真とお手紙をすぐに送って下さいました。）初対面のはずの人たちの誰もに、身近な親しみを感じられたのも不思議な体験でした。

１日だけのタイムトラベルはあっという間に終わり、またいつもの通りの明け暮れに戻ったのですが、しばらくは楽しい余韻にひたることができました。

ちなみに今回の７回生の出席者は私を含めて３名。来年度は大勢の人にこの不思議を体験してほしいと思っています。

７回生、がんばろう！！

7回生大石さんと野村美穂子さん

31回生永井克宜さん

リレーエッセイ PART 3

３１回生永井克宜

私は現在、大学院の修士課程１回生である。「いしだたみ」に投稿される人のなかでは最も若い方だと思う。所属は農学研究科応用生物科学専攻海洋生物生産利用学分野という研究室である。長い名前であるが主に水産食品の加工や魚介類の生化学に携わっている研究室と考えて下さい。

僕のテーマは「クルマエビ血液中に存在するメラニン生成系について」である。どういうことかというと、エビ類は解凍後に黒変をおこし、商品価値の低下を招く。この黒変の正体はメラニンであるが、このメラニンを作るのがフエノールオキシダーゼという酵素である。そこで水産業上最も有用なクルマエビを用いてフエノールオキシダーゼを精製し、商品価値の低下を防ぐことが最終目標である。当分は酵素を精製し、遺伝子実験（塩基配列決定・遺伝子組み換え）をする予定である。実験は徹夜することも多く、意外と肉体を酷使するのだが、その分、現象を解明できた時の達成感は大きい。また、研究室の雰囲気はとてもよく、いつまでもここで実験できたらいいと思う。しかし、１年半後には大学院を卒業して就職しなくてはならない。ここでいかなる所に就職するかであるが、人生の選択、誰もが悩む所であろう。大企業、ベンチャー、公務員・・・。僕がなぜ大学で水産を専攻することを志望し、今の研究に携わっているかというと、海の近くで生まれ、そこで育ち、幼い頃から魚が好きで、よく海や川で魚を捕まえたり、釣りをした。海で釣りをしながら船乗りになることも考えた。以上のような理由でいずれは海に関わる仕事をしたいと思っていた。小学校の社会の授業で長崎県は水産業が盛んであると学んだ。これらの理由から、大学で水産を専攻したのだから、今後の長崎県の水産業をいかに発展させていくか画策す

べきであろう。ただ、高校を卒業し、現在に至るまでの４年間を過ごした関西圏、特に京都という街も離れがたい。こちらに知り合いもたくさんできた。かつては日本の都だっただけに由緒ある寺社、年中行事など、魅力ある街であると思う。しかし京都には海がない。やはり長崎県の県水産試験場で研究職にでも従事することができたらいいと思う。

長崎同窓会総会

同窓会本部副会長（広報担当）
６回生　浦川 英孝

関西同窓会の皆さん、日頃より、活発な活動に敬服いたしております。
長崎南高校同窓会総会・懇親会（１年おき開催）は、本年８月１２日午後６時３０分、長崎駅前のホテル「ニュー長崎」にて開催致しました。
総会は、岩永正人会長の挨拶、原宮之現校長先生の来賓ご挨拶の後、平成９年度会務報告、同決算報告、平成１０年度会務予定、同予算（案）などの審議がなされ、満場一致にて原案通りの承認を頂き、続いて岩永会長より維持会費についての説明、ご協力のお願い、承認があり閉会致しました。
引き続き、部屋を変えて懇親会となりましたが、例年の事ながら、寂しかった総会議場とは違い、多数の会員諸兄（２１８名）が今や遅しと開会を待ち構えている状態でした。
今回より、懇親会の運営は、複数回生（５回刻み）の当番制で行うこととなり、今回は、１，６，１１，１６，２１，２６，３１回生の担当で（次回は、２，７，１２・・・）、私が司会を務めることとなりました。
開会宣言、出席教職員の紹介、山口智美（３４回生）さん、亀川加奈子（３５回生）さんの新入会員代表の挨拶など開会セレモニーの後、１回生の夏井淳さんの乾杯の音頭で宴が始まると、あとは喧騒・・・。学校の現況報告を始め、福岡（諸藤元信さん・５回生）、関西（藤原由美子さん・６回生）同窓会の報告、本部からのお宮日の夜店出店のお手伝いの依頼、PTA よりの報告などは、さながら「馬の耳」状態。コーラス部ＯＢのミニコンサート、会員企業などからせしめた様々な景品を奪い合う「じゃんけんゲーム」、「お楽しみ抽選会」など所定の時間をオーバーしてしまい、最後は、コーラス部のＯＢの吉原正法（６回生）さんの指揮で校歌を斉唱し、盛会のうちに閉会、夜の町に散会致しました。
臨場感をお伝えできなかったかと思いますが、百聞は一見にしかず、次回平成１２年（２０００年）にお待ちいたしております。

金丸さん（7回生）・広瀬先生・野村さん（7回生）

インフォメーション

●　平成１１年年間行事計画

１月　「いしだたみ１３号」発刊
２月５日（金）新年会
「甘太郎」℡０６－６２４３－７８８０
大阪市中央区心斎橋１－５－２７
福太郎ビル４Ｆ　ＰＭ６：３０～
２月２１日（日）　バードウォッチング
４月１７日（土）　春期ゴルフコンペ
７月１６日（金）　納涼ビアパーティ
「アサヒビアハウス梅新」
℡０６－６３１１－２８２９
大阪市北区西天満４－１５－１０
同和火災フェニックスタワーＢ１Ｆ
ＰＭ６：３０～
７月　「いしだたみ１４号」発刊
９月１１日（土）**第9回総会**
ＰＭ４：００～ 昨年と同所
「大阪キャッスルホテル」
℡０６－６９４２－２４０１
大阪市中央区天満橋京町１－１
１１月１３日（土）秋期ゴルフコンペ
１２月３日（金）　忘年会
「中央軒」℡０６－６６４３－００２０
大阪市中央区難波４－２－１１
長崎名物の中華料理店、経営者は長崎の方です。

１１年度の行事予定です。どなたでも参加できますので、興味のある方は、事務局までお電話ください。

発行人　長崎南高関西同窓会
会長　松本　藤一
編集人　池谷　秀子
〒541－0041　大阪市中央区北浜2－3－6
北浜山本ビル3F　松本法律事務所内
TEL　06－4707－8518
FAX　06－4707－0038

●バードウォッチング

本年度の目玉行事です。初心者向けのコースですので、家族連れ、大歓迎です。

時　：２月２１日　午前１０時
集合場所：阪急電鉄甲陽線　甲陽園駅
改札出口
雨天の場合　次週順延
目的地　：甲山森林公園
持ち物　：弁当　水筒　双眼鏡（７－１０倍程度）　防寒具
足元はハイキングシューズ程度
連絡先　：金丸　源治
０７９８－４５－０３６４（℡、ＦＡＸ共）

集合場所等変更の場合がありますので参加される方は２月１４日までに連絡してください。

●事務局を居候させてもらっている松本藤一法律事務所が移転しました。これまで大変お世話になり、今後ともよろしくということで、同窓会より記念品を送りました。
住所、℡、FAX 共に、変わりましたのでご注意ください。

編集後記

先輩曰く「同窓会年齢がある。」
私も30代までは、まるで興味がなかった。
子育てに忙しく、時間もお金もなく、したいことは他にあった。
楽しくなったのは、50の声を間近に聞いてからである。だから若い世代の出席率が悪いのはしかたがないと思っている。先に行ったらこういう楽しみもありますよとメッセージだけは送り続けようと思っている。でも、ちょっと覗いてみたら、ひとつ世界が広がったりもしますよ。
どうぞ、どうぞ。いらっしゃい！！！
（5回生　池谷　秀子）